

発売 20 年目を迎える「キリン のどごし<生>」をリニューアル！ ～飲みごたえと後キレを感じる「爽快なうまさ」がさらに進化～

キリンビール株式会社（社長 堀口英樹）は、「キリン のどごし<生>」の発売 20 年目の節目の年に、中味とパッケージともに 4 月製造品から全国で順次リニューアルします。

2023 年 10 月の酒税改正により、新ジャンル（発泡酒②）が増税となり、同市場は縮小傾向にあります。一方で、近年の物価高騰もあり、お客様の節約志向から、手ごろな値段で買やすく気軽に飲めて、親しみやすいイメージのエコノミカテゴリー※1 へのニーズは今後も根強いと予測されています。

※1 23 年 10 月以降、酒税が同一となる発泡酒・新ジャンル（発泡酒②）の総称

当商品は 2005 年の発売以来、ブランドの強みである「ゴクゴク飲める爽快なうまさ」と、「スカッと明るくなる気持ちをもたらす」独自のブランド価値が高く評価されています。今年で発売 20 年目を迎え、累計販売数量は 200 億本※2 を突破しました。

今回のリニューアルでは、ホップの使用比率変更により「トップの飲みごたえ」と「後半の後キレ」を強化し、「爽快なうまさ」を進化させました。

※2 「キリン のどごし<生>」2005 年 4 月発売～2023 年 12 月までの累計出荷本数（350ml 缶換算）

「キリン のどごし<生>」は、“日本の毎日を、スカッと明るく元気”にすることを目指しています。ブランドの特長である「爽快で元気が湧く」イメージをお客様にお届けし、ビール類市場の活性化を目指します。

<リニューアルの特長>

●中味

ホップの使用比率変更により「トップの飲みごたえ」と「後半の後キレ」を強化。「ゴクゴク飲める爽快なうまさ」を進化させました。



●パッケージ

「進化し続けて 20 年目」のメッセージを表裏に配置し、味を磨き続けるブランドの姿勢と、長きに渡り選ばれていることを表現しました。

加えて、水滴や炭酸を感じさせるようなビールシズルの動きを強化し、「爽快なうまさ」を表現しています。

キリングループは、自然と人を見つめるものづくりで、「食と健康」の新たなよるこびを広げ、こころ豊かな社会の実現に貢献します。

記

- | | |
|------------|--|
| 1. 商品名 | 「キリン のどごし<生>」 |
| 2. 発売地域 | 全国 |
| 3. 発売日 | 2024 年 4 月製造品より順次切り替え |
| 4. 容量・容器 | 250ml・缶、350ml・缶、500ml・缶、15L・樽 |
| 5. 価格 | オープン価格 |
| 6. アルコール分 | 5% |
| 7. 純アルコール量 | 250ml 缶：10g、350ml 缶：14g、500ml 缶：20g |
| 8. 酒税法上の区分 | 発泡酒② |
| 9. 製造工場 | キリンビール北海道千歳工場、仙台工場、取手工場、横浜工場、名古屋工場、滋賀工場、神戸工場、岡山工場、福岡工場 |

以上

（お客様お問い合わせ先）

キリンホールディングス株式会社 キリンビールお客様相談室（フリーダイヤル）0120-111-560

企業情報 Web サイト <https://www.kirinholdings.com/> 商品・サービス情報 Web サイト <https://www.kirin.co.jp/>